

# 72万人のビックデータを分析

## 令和元年度特定健診データ 分析結果について

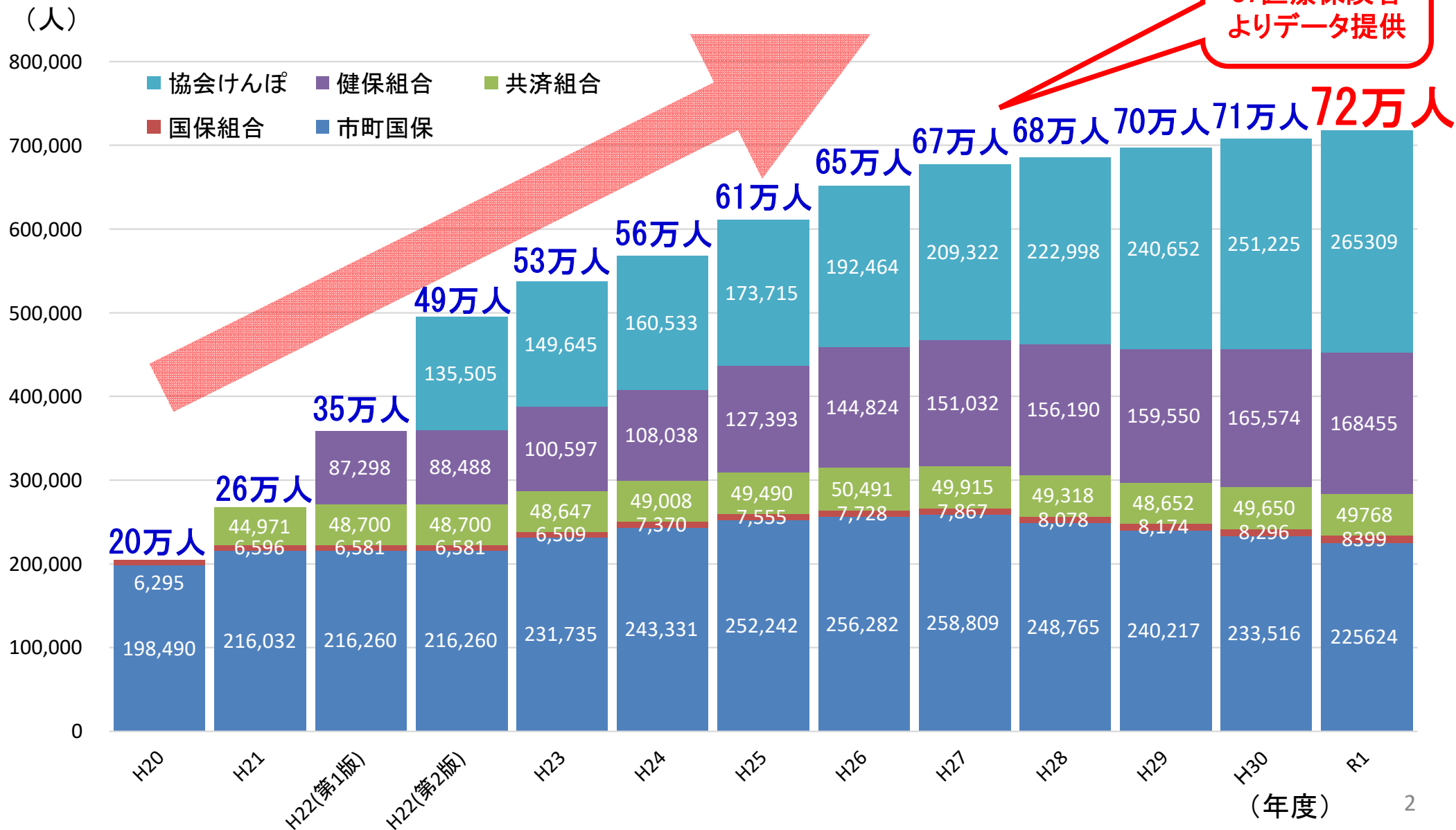
令和4年2月25日

静岡県健康福祉部 健康政策課

# 令和元年度特定健診分析対象者数

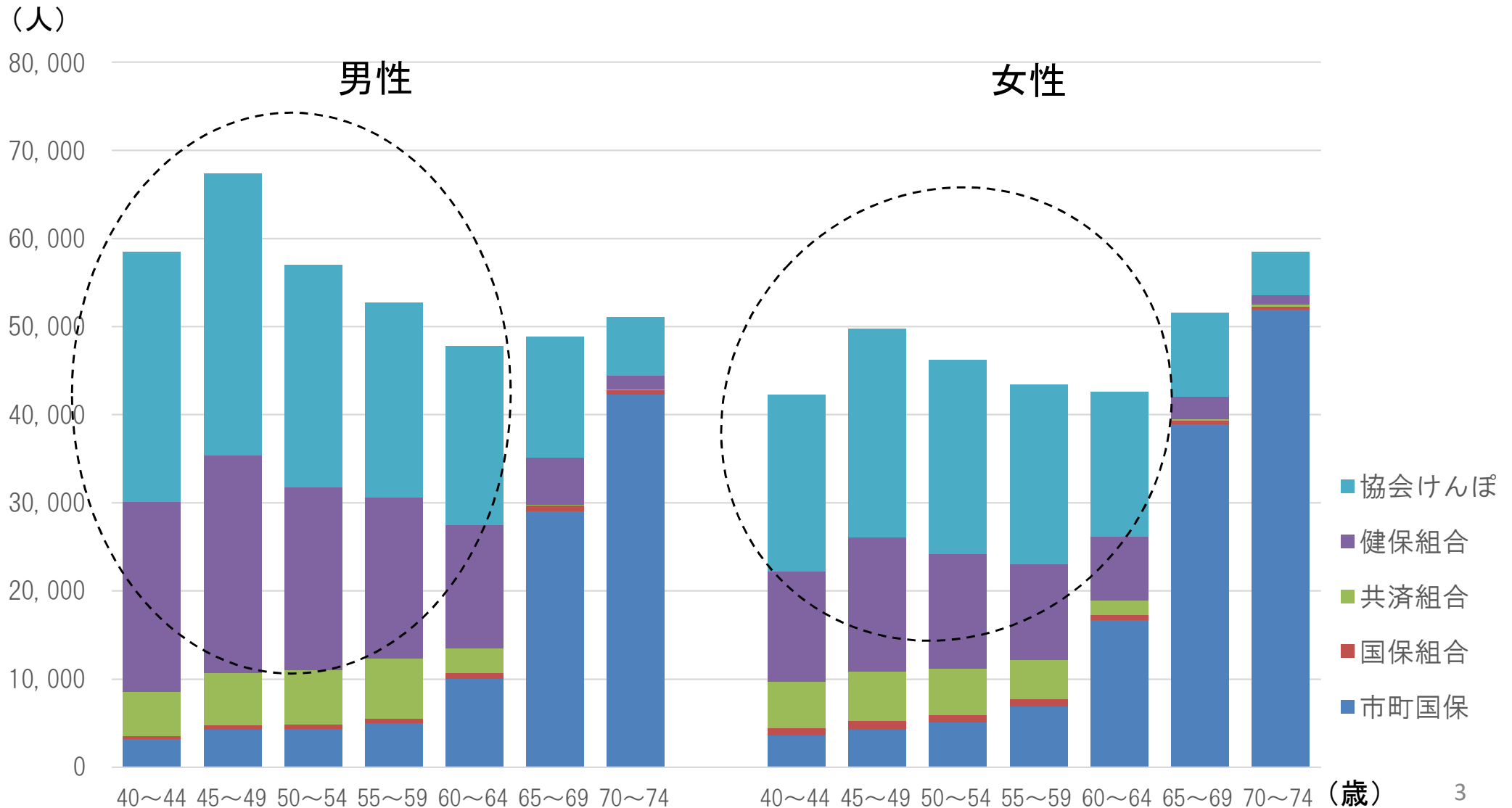
## 受診者の増加 + 協力医療保険者の増加

H27～  
87医療保険者  
よりデータ提供



# 令和元年度特定健診分析対象者の年齢構成

協会けんぽ、健保組合等のデータ提供により  
若い働き盛り世代を大きく補完



# 県内87の全医療保険者のデータ提供から5年間の 経年分析を実施

## 静岡県全体の主な傾向

- **メタボ該当者・肥満者**は、男女とも年々**増加**がみられる。
- **糖尿病有病者**は、男女とも**増加傾向**がみられる。
- **女性の高血圧症有病者**は**緩やかな減少傾向**がみられる。**高血圧予備群**は男女とも**減少傾向**がみられる。

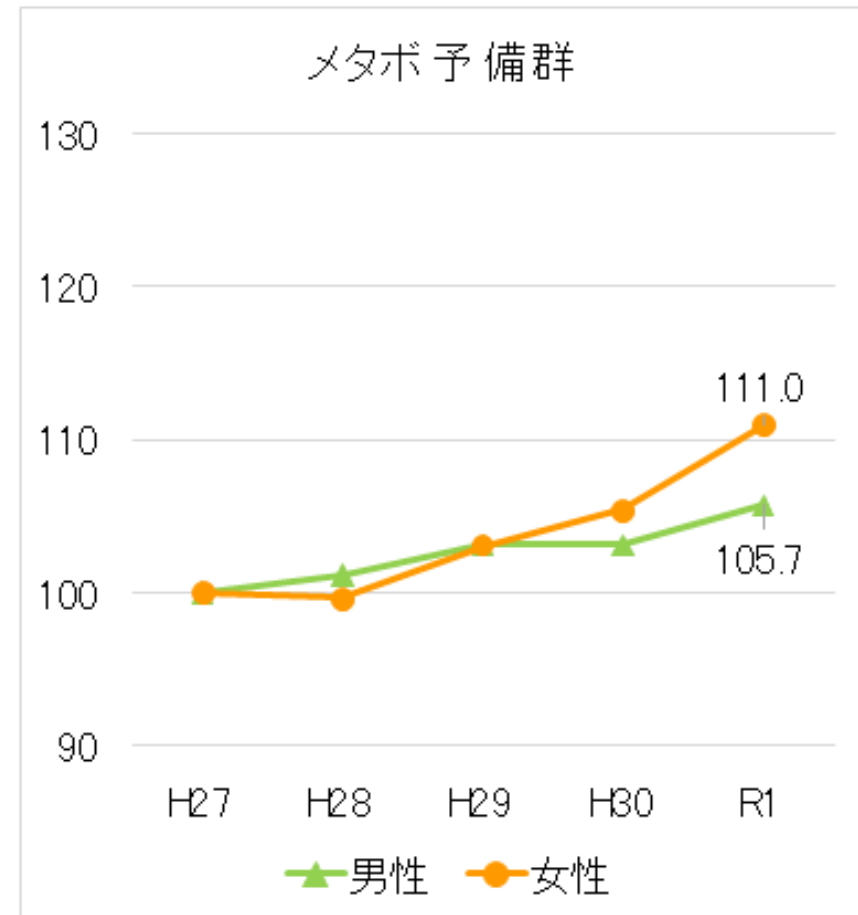
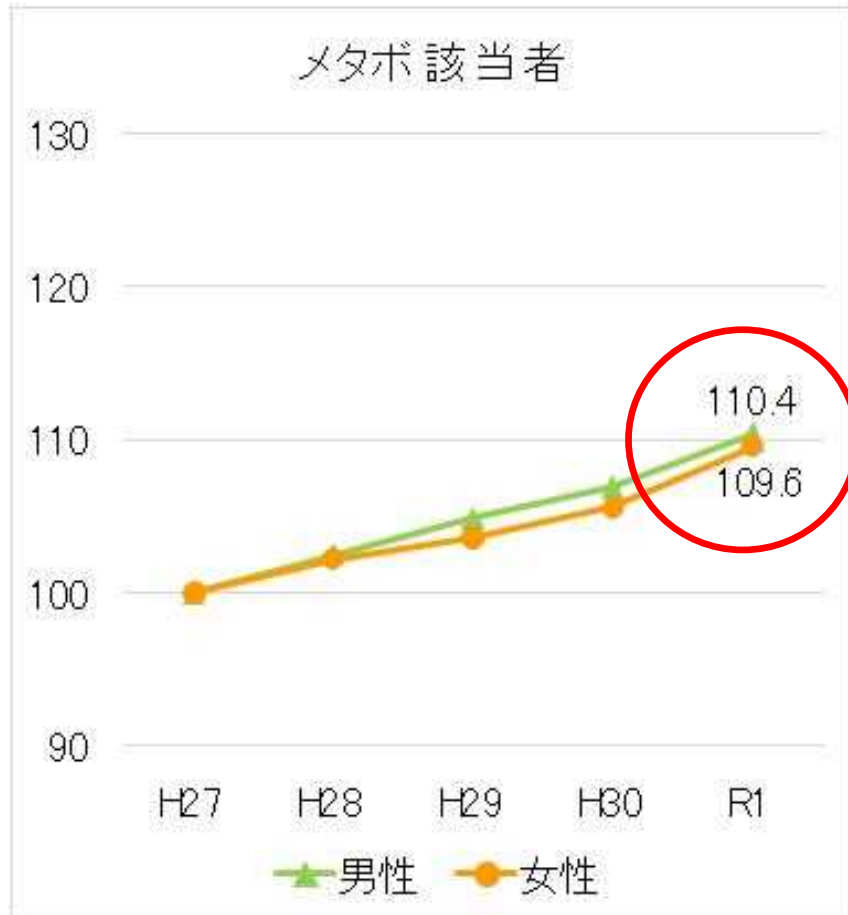
### 《標準化該当比》

死亡率、リスク因子(血糖や血圧等)や医療費等は、**高齢なほど高くなる**ため、地域間の比較や経時的な推移をモニタリングする際に**年齢を調整して**指標を算出する。

高齢の人が多い地域や高齢の人が多く受診した年があっても標準化される。

# 平成27～令和元年度標準化該当比年次推移（メタボ）

## メタボ該当者は、男女とも年々増加している



※ 平成27年度の県全体を100とした場合の標準化該当比の年次推移

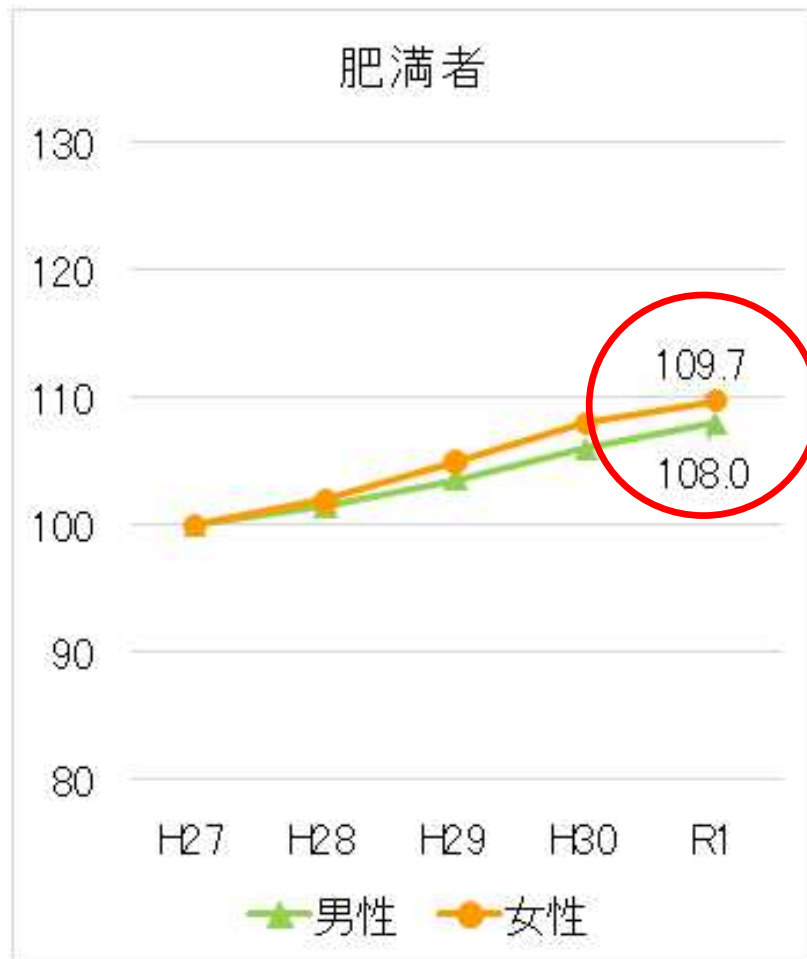
《メタボ該当者》：腹囲男性85cm以上、女性90cm以上かつ以下の①～③の2つ以上に該当する者。

《メタボ予備群》：腹囲男性85cm以上、女性90cm以上かつ以下の①～③の1つに該当する者。

- ① 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、もしくはコレステロールを下げる薬を服用。
- ② 収縮期血圧130mmHg以上、または拡張期血圧85mmHg以上、もしくは血圧を下げる薬を服用。
- ③ 空腹時血糖110mg/dl以上、またはHbA1c6.0以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用。

# 平成27～令和元年度標準化該当比年次推移（肥満）

## 肥満者は、男女とも増加している



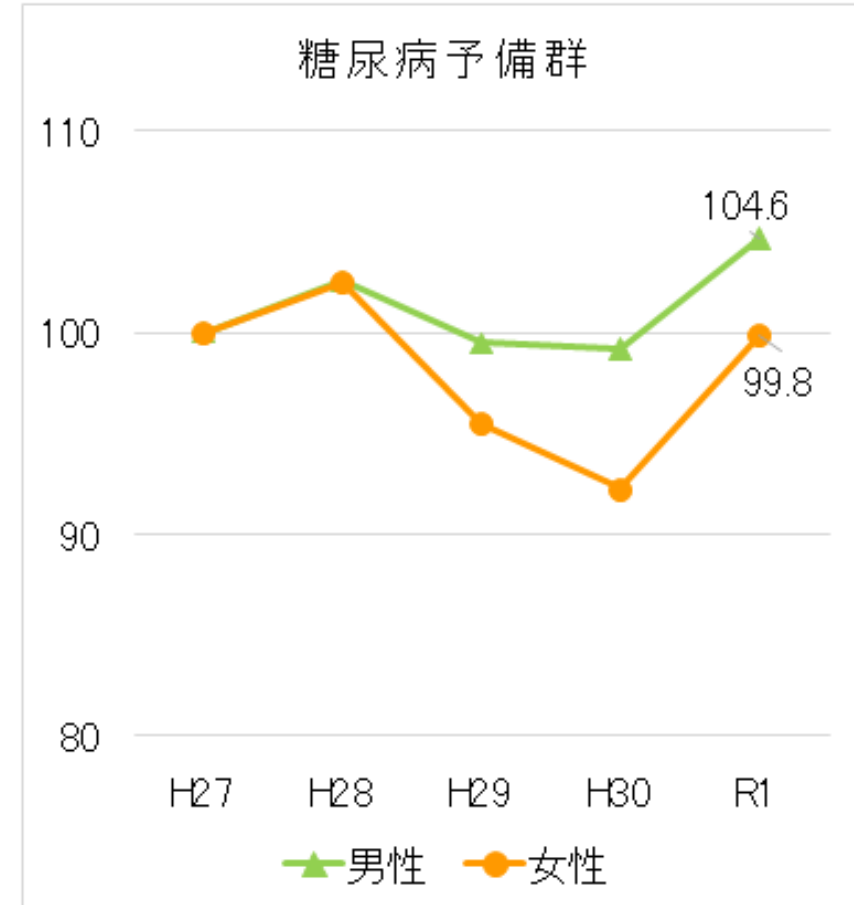
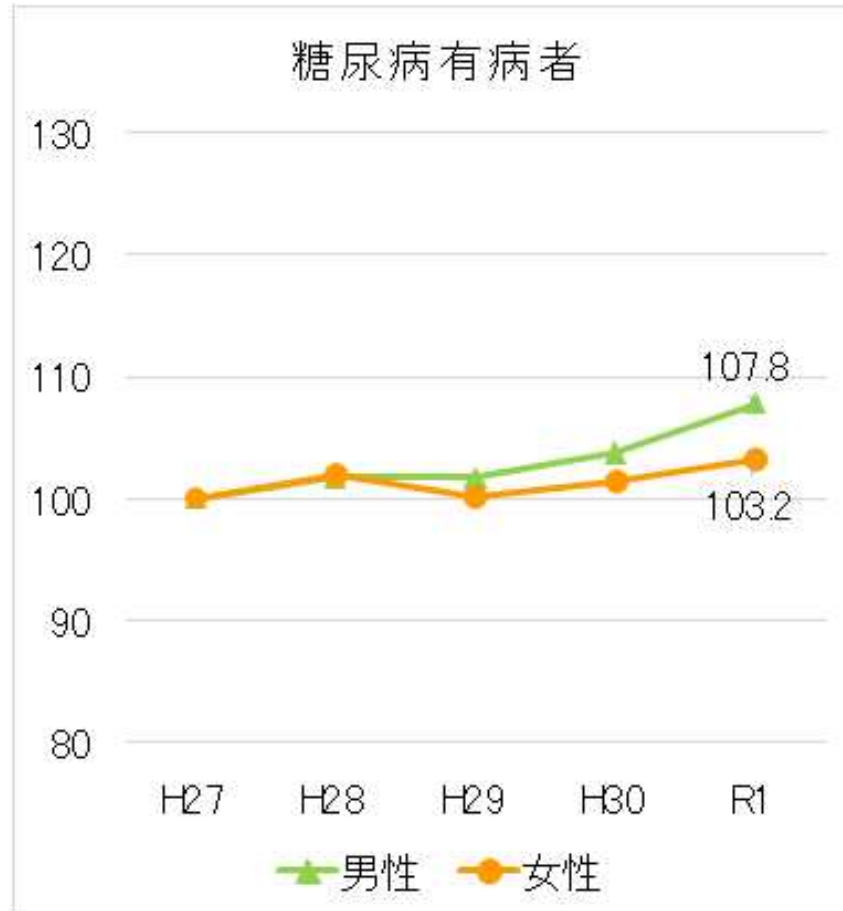
※ 平成27年度の県全体を100とした場合の標準化該当比の年次推移

《肥満者》：次の3項目のいずれかに該当する者。

- ①BMI25以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上。
- ②BMIのみ25以上。
- ③腹囲のみ男性85cm以上、女性90cm以上。

# 平成27～令和元年度標準化該当比年次推移（糖尿病）

## 糖尿病有病者は男女とも増加傾向がみられ、予備群は増減がある



※ 平成27年度の県全体を100とした場合の標準化該当比の年次推移

《糖尿病有病者》

空腹時血糖126mg/dl以上、またはHbA1c6.5以上、もしくはインスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者。

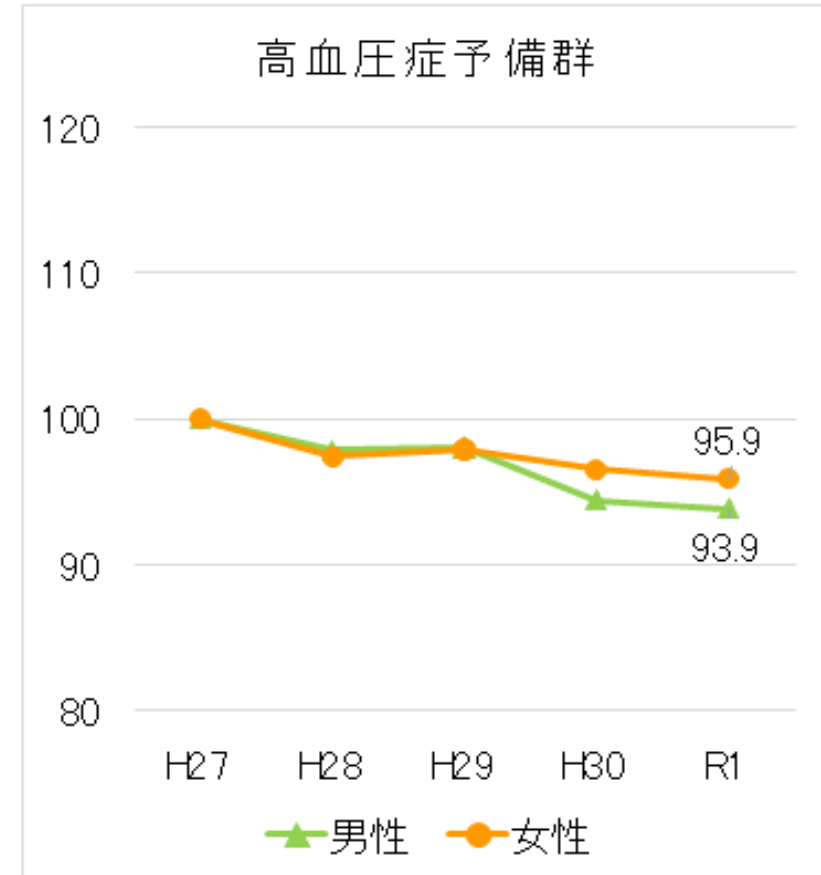
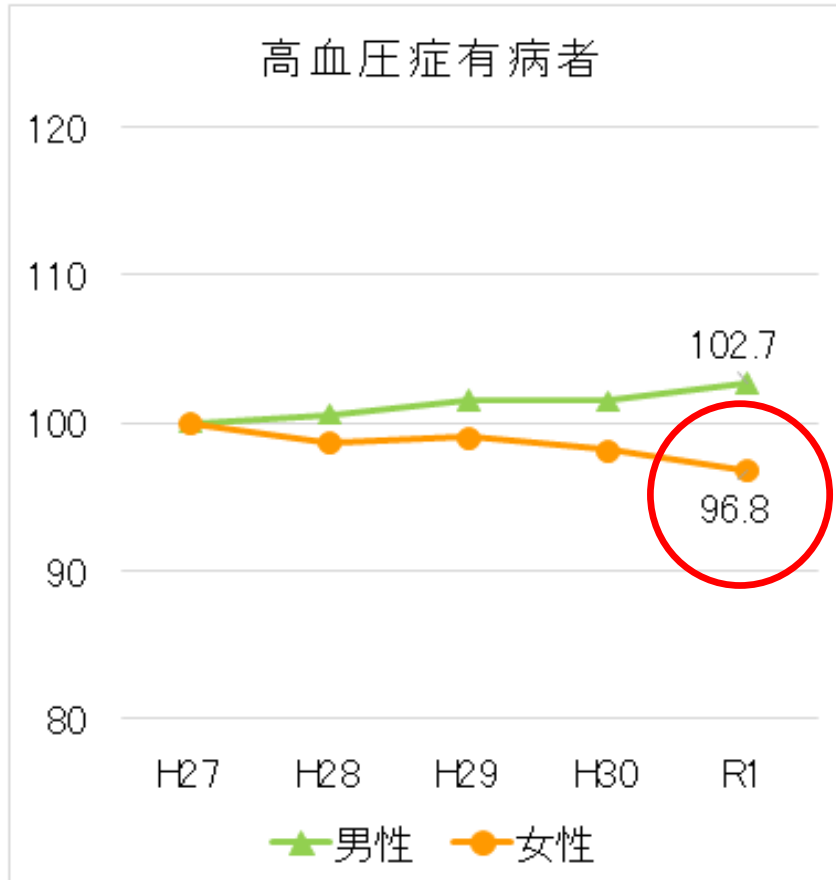
《糖尿病予備群》

空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満、またはHbA1c6.0以上6.5未満の者。

ただしインスリン注射または血糖を下げる薬を服用している者は除く。

# 平成27～令和元年度標準化該当比年次推移（高血圧）

## 女性の高血圧症有病者は緩やかな減少傾向、予備群は男女とも減少傾向がみられる



※ 平成27年度の県全体を100とした場合の標準化該当比の年次推移

《高血圧症有病者》

収縮期血圧が140mmHg以上、または拡張期血圧が90mmHg以上の者、もしくは血圧を下げる薬を服用している者。

《高血圧症予備群》

①収縮期血圧が130mmHg以上140mmHg未満、かつ拡張期血圧が90mmHg未満である者。

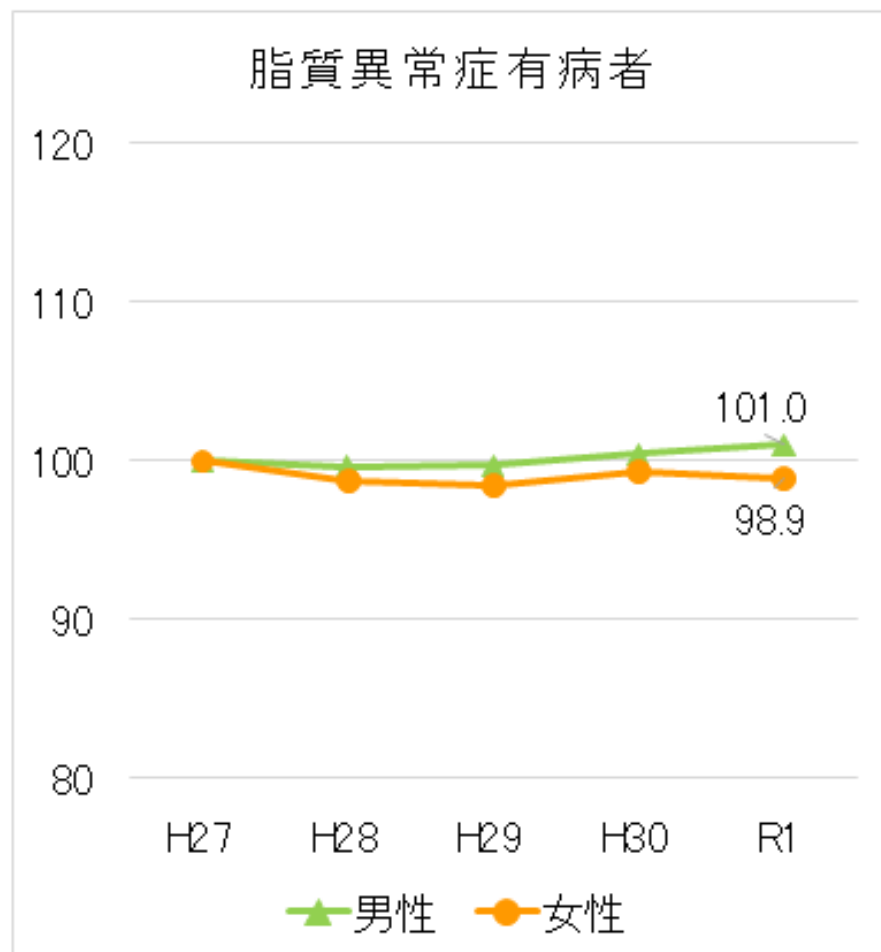
②収縮期血圧が140未満、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満である者。

ただし、血圧を下げる薬を服用している者は除く。



# 平成27～令和元年度標準化該当比年次推移（脂質異常）

## 脂質異常症有病者は、男女ともほぼ横ばい



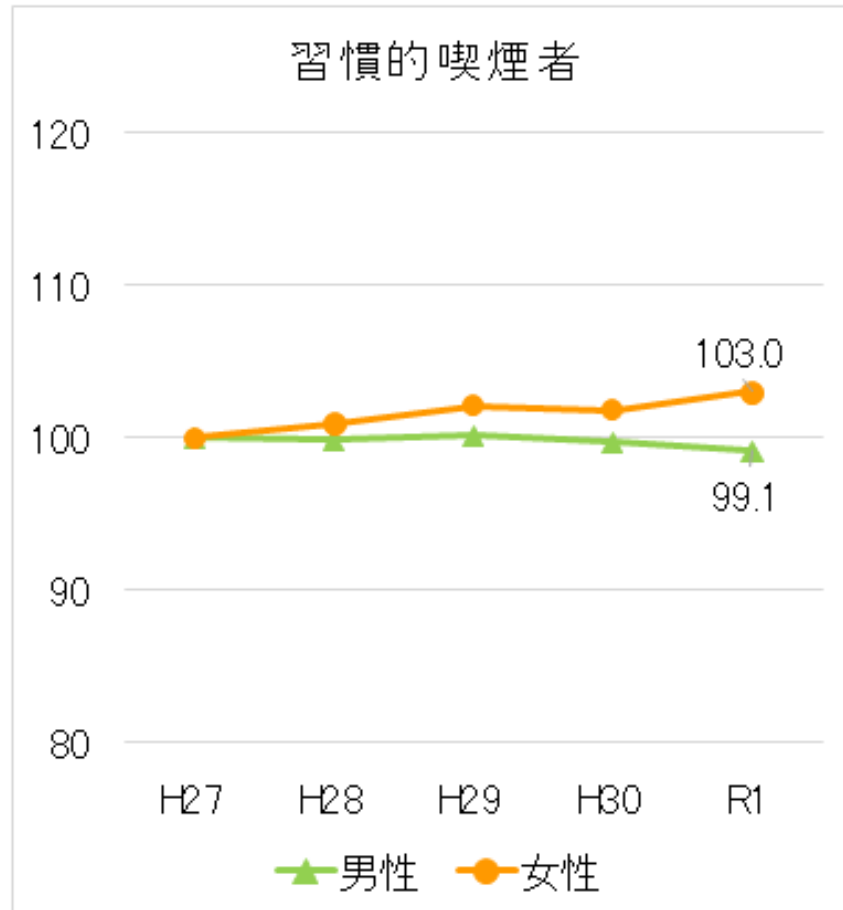
※ 平成27年度の県全体を100とした場合の標準化該当比の年次推移

《脂質異常症有病者者》

中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロール40mg/dl未満、またはLDLコレステロール140mg/dl以上、もしくはコレステロールを下げる薬服用者。

# 平成27～令和元年度標準化該当比年次推移（喫煙）

## 習慣的喫煙者は男性はほぼ横ばい、女性は緩やかな増加傾向がみられる



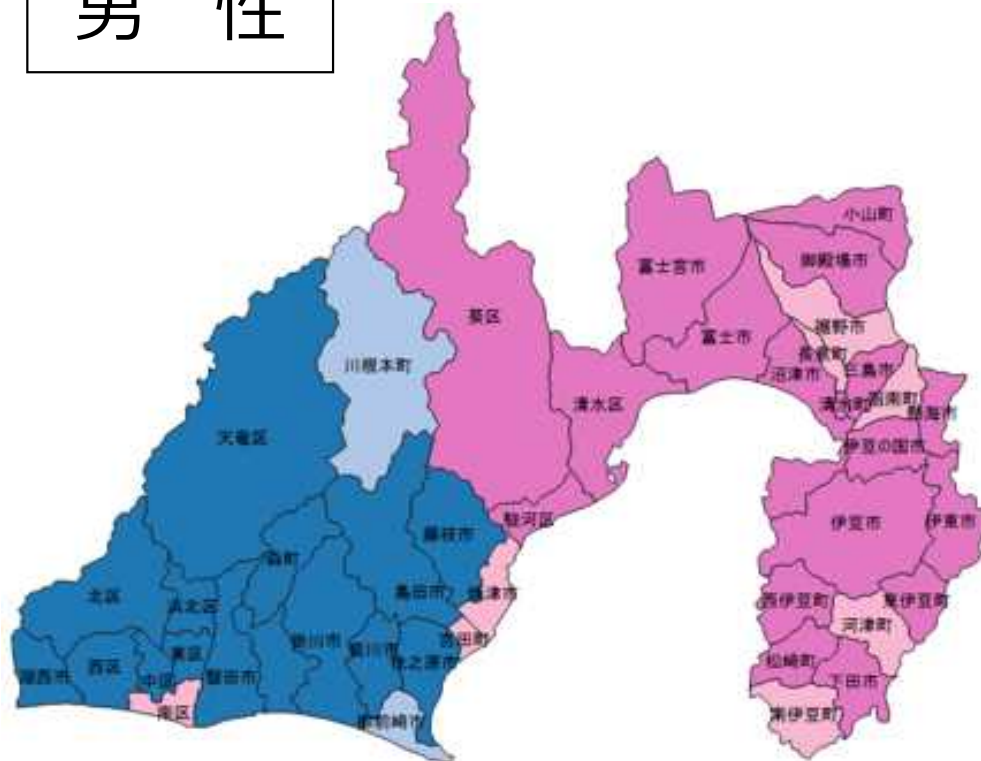
※ 平成27年度の県全体を100とした場合の標準化該当比の年次推移

《習慣的喫煙者》

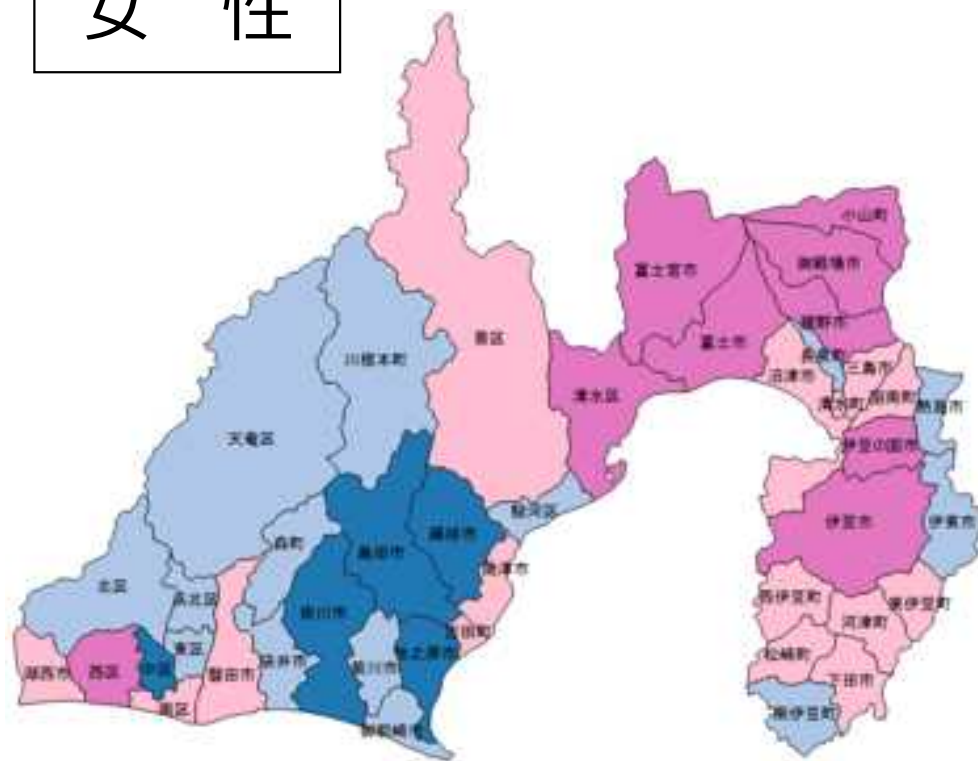
「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、「最近1ヶ月間も吸っている者」。

## 男性は県東部と静岡市でメタボリックシンドローム該当者が多い

男性



女性

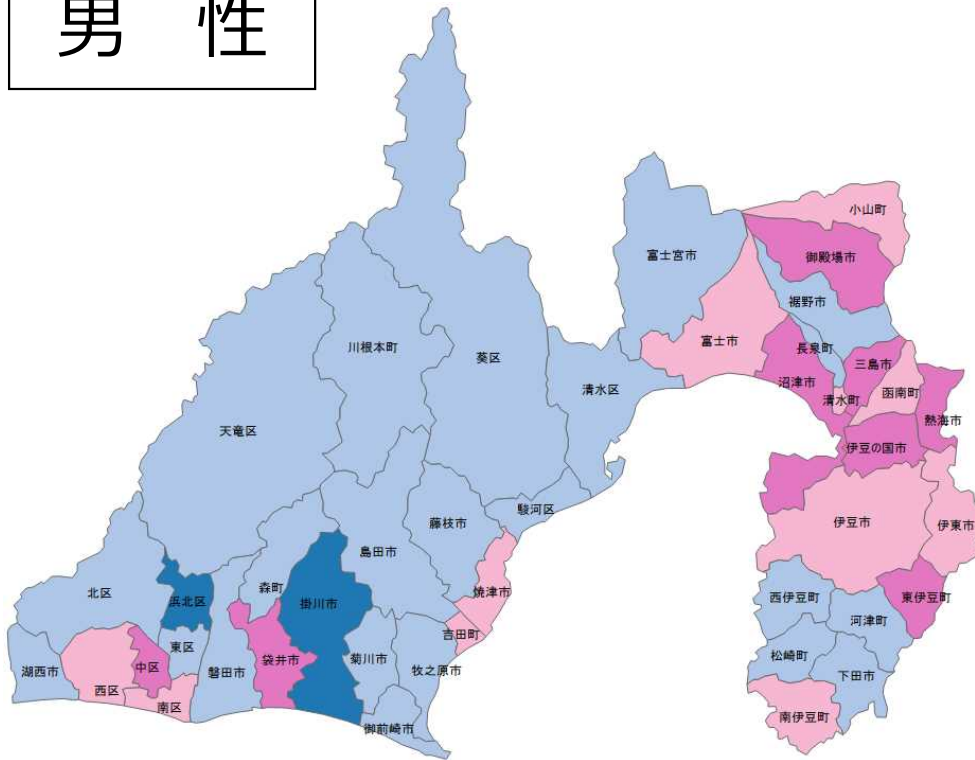


- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

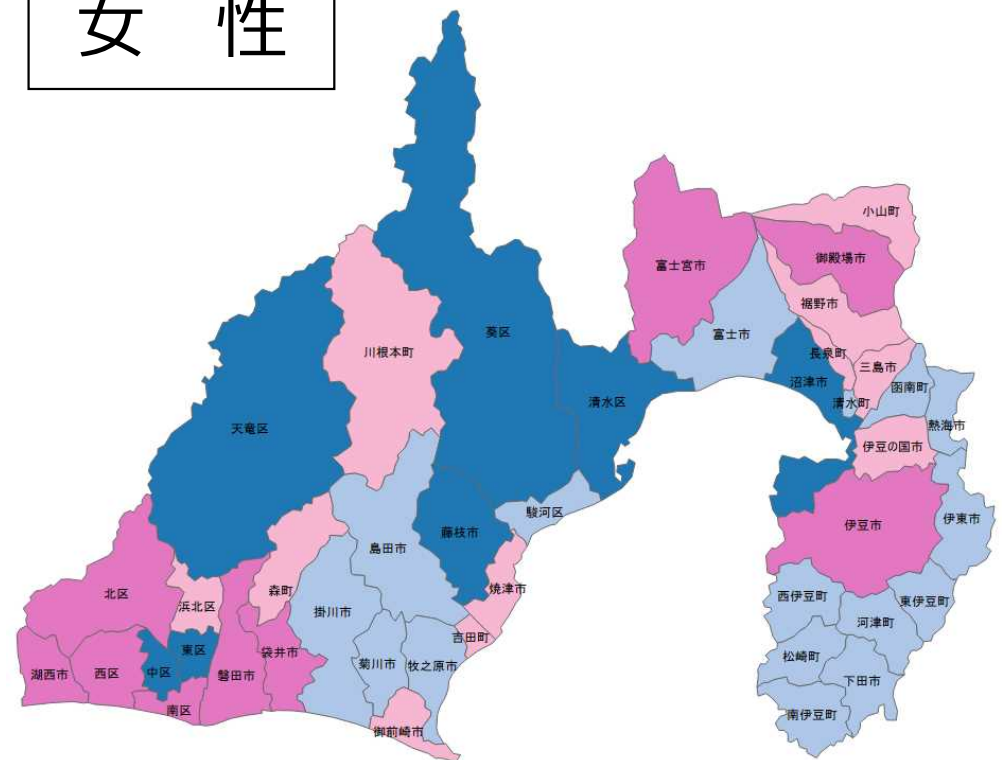
# 令和元年度特定健診：糖尿病有病者

## 男性は県東部で、女性は県東部と県西部で糖尿病有病者が多い

男性



女性

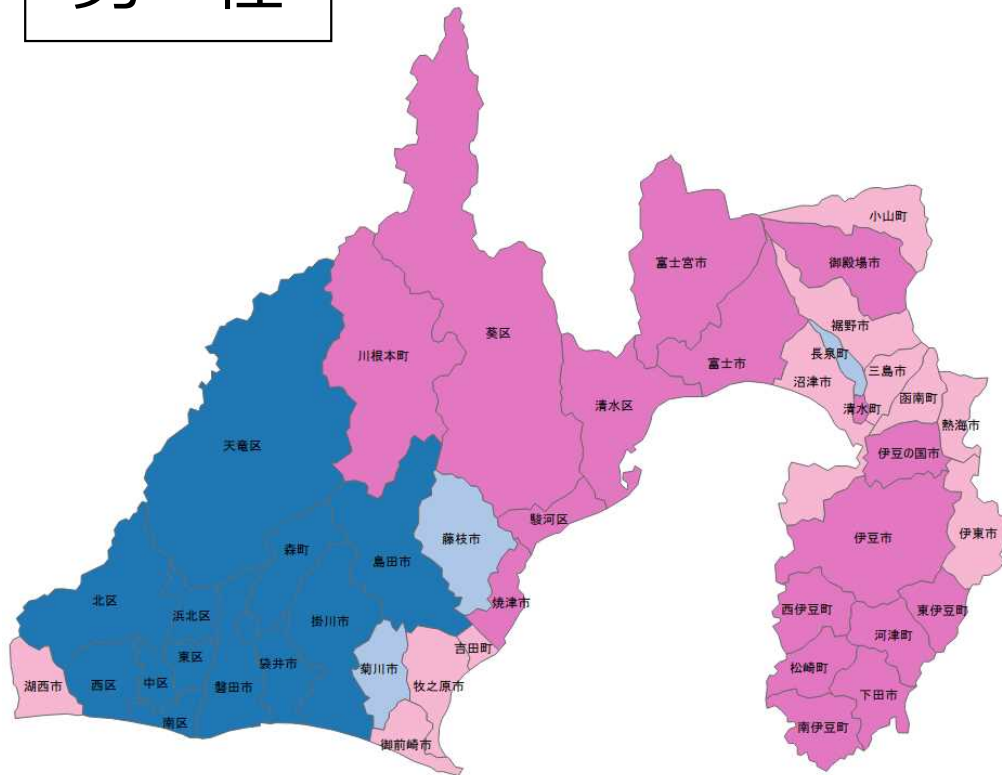


- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

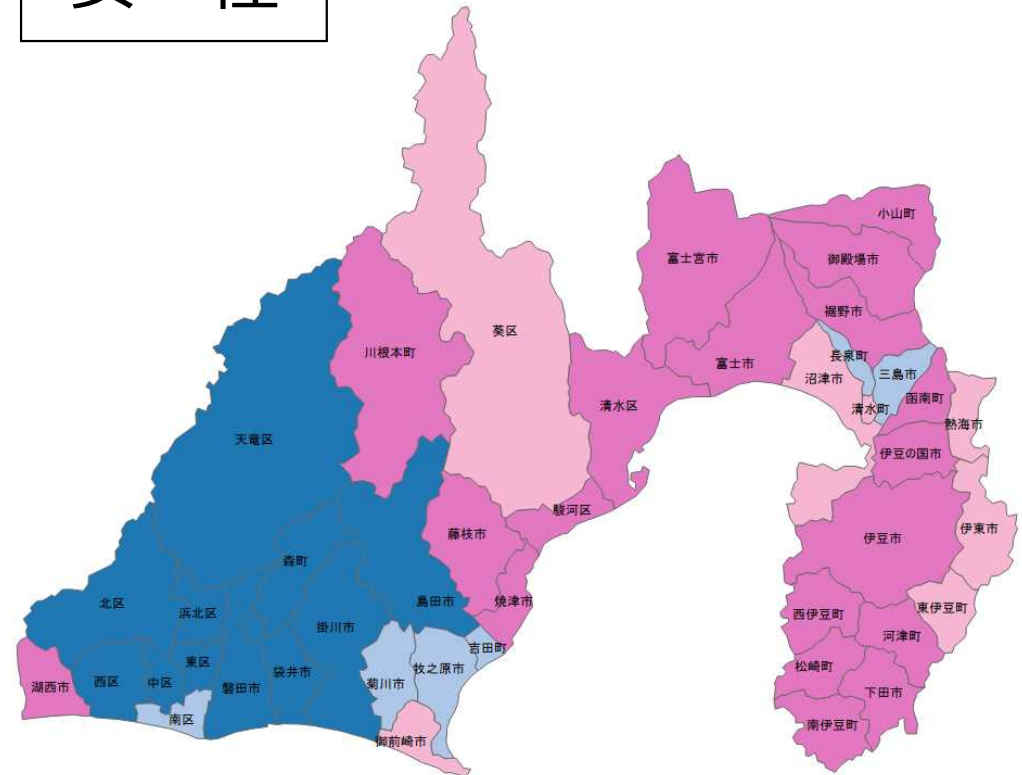
# 令和元年度特定健診：高血圧症有病者

## 県東部と県中部で高血圧症有病者が多い

男性



女性



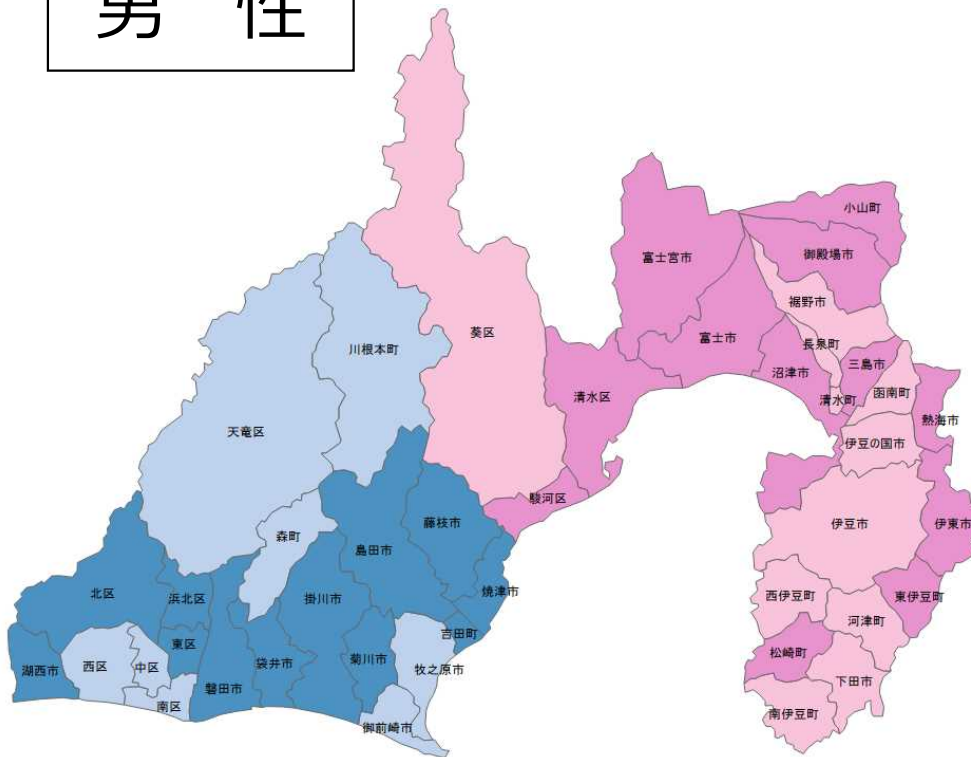
- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない



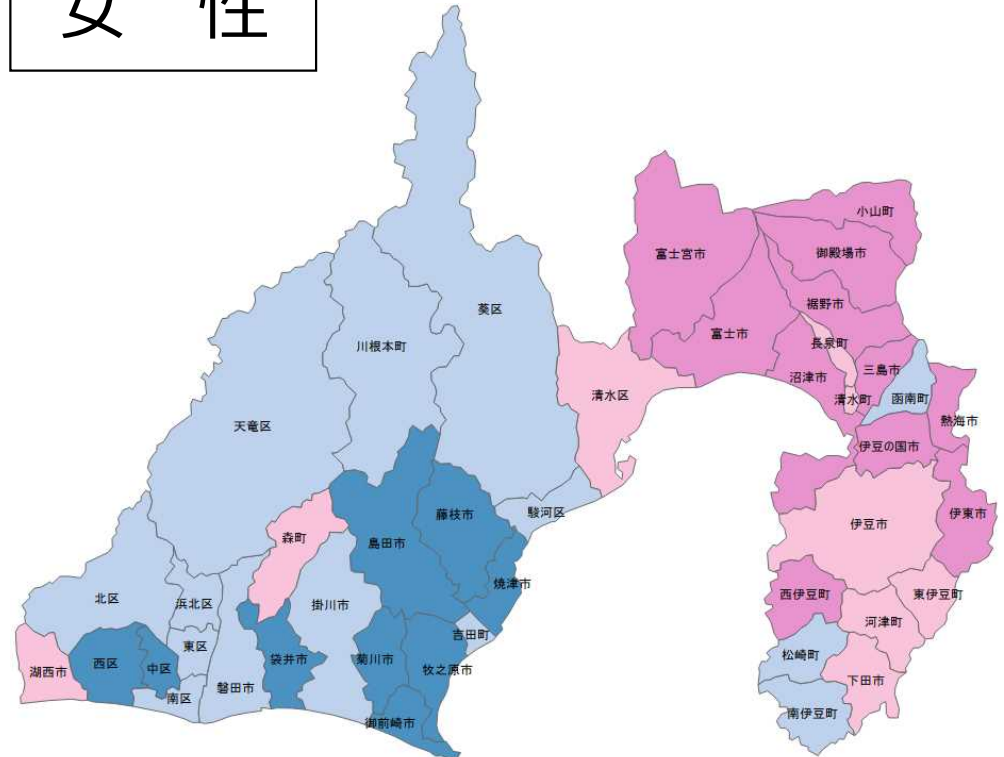
# R1特定健診：脂質異常症有病者

## 県東部と静岡市で脂質異常症有病者が多い

男性



女性

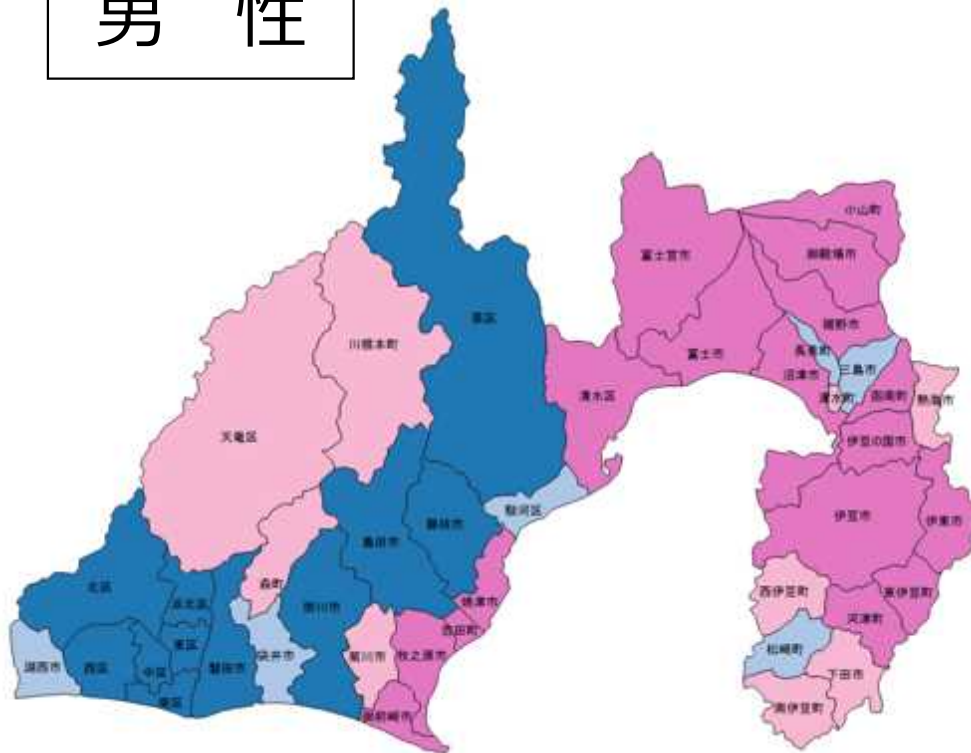


- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

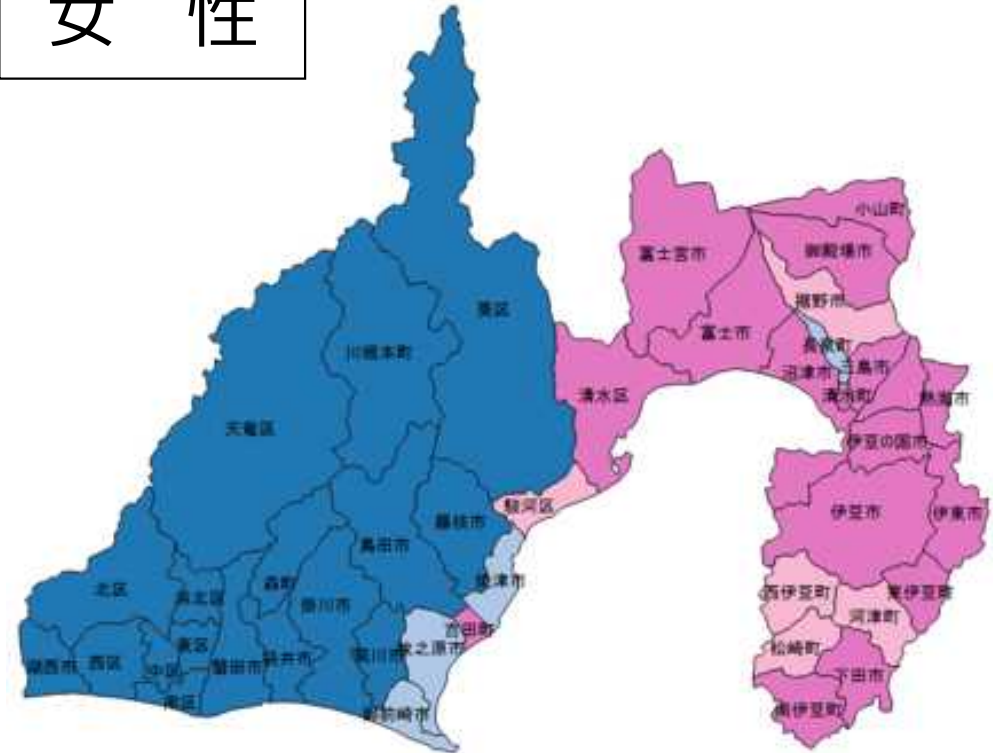
# 令和元年度特定健診：習慣的喫煙者

## 県東部で習慣的喫煙者が多い

男性



女性



- 全県に比べて、有意に多い
- 有意ではないが、全県に比べて多い
- 有意ではないが、全県に比べて少ない
- 全県に比べて、有意に少ない

# 追加分析

「**血圧高め**」の人（高値血圧者）と、そうでない人（正常血圧・正常高値血圧者）との生活習慣等の違いをみるため、特定健診の問診項目（体重増加、身体活動関係、飲酒）の回答状況との関連を検討した。

表1 成人における血圧値の分類(mmHg)

分類	収縮期血圧		拡張期血圧	
正常血圧	<120	かつ	<80	そうでない人
正常高値血圧	120-129	かつ/または	80-84	
高値血圧	130-139	かつ/または	85-89	「血圧高め」 の人
I 度高血圧	140-159	かつ/または	90-99	
II 度高血圧	160-179	かつ/または	100-109	
III 度高血圧	≥180	かつ/または	≥110	



令和元年度静岡県特定健診データ 約72万人  
そのうち、40-50歳代 約42万人を抽出

次の者を除外

- BMI、血圧が確認できなかった者
- 服薬(血圧、コレステロール、血糖を下げる薬、インスリン注射)している者
- 医師から脳卒中、心臓病、慢性の腎不全にかかっているとされたり治療を受けたりしたことがあると回答した者
- 血圧値が高血圧の基準に当てはまる者

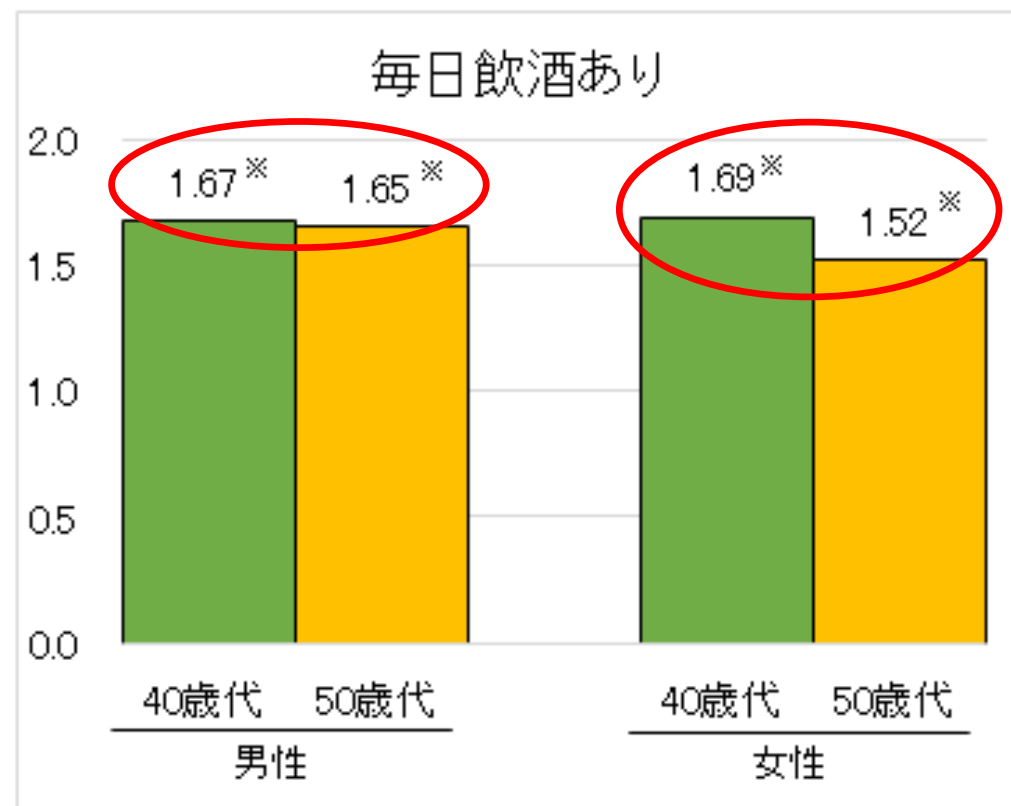
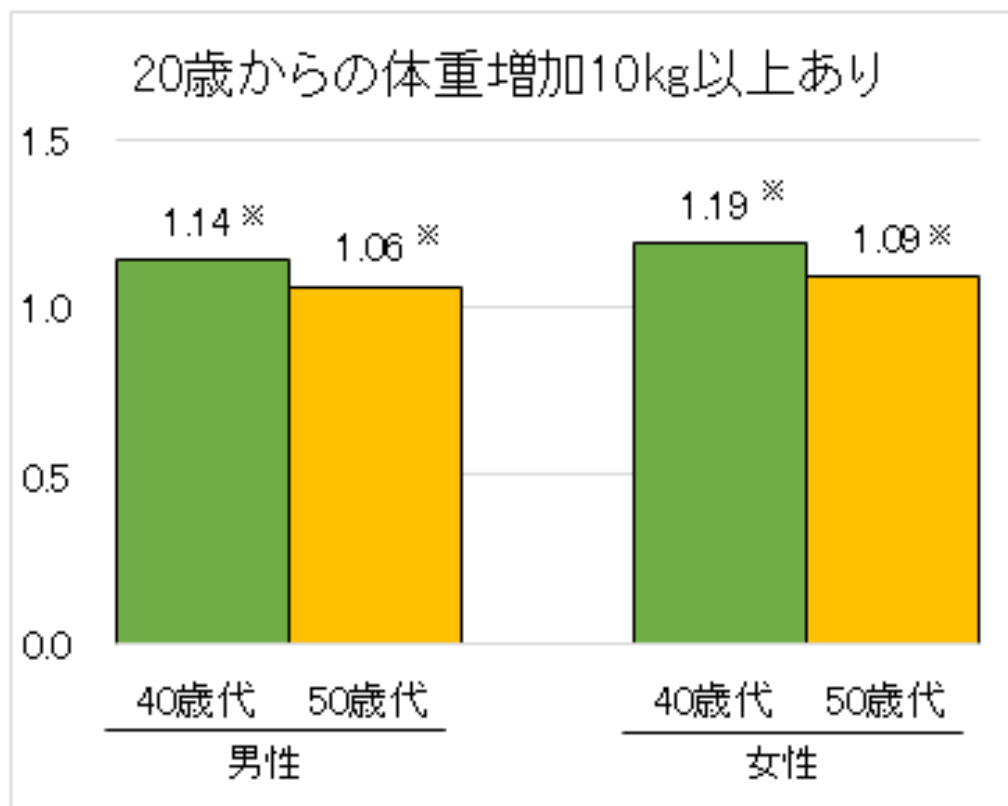
300,429人  
(男性155,978人、女性144,451人)

表2 分析に用いた問診項目

項 目
1. 20歳からの体重増加10kg以上あり
2. 運動習慣(1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施)なし
3. 1時間以上の身体活動なし
4. ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速くない
5. 毎日飲酒あり

# <結果>

- 「20歳からの体重増加10kg以上あり」及び「毎日飲酒あり」の者では、「血压高め」であるオッズ比が、男女とも有意に高かった。
- また、50歳代より40歳代で、「血压高め」との関連がより強かった。



※有意差あり    ※※年齢、BMIを調整